

つなげよう つながろう ふたばのわ



「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを深めるためのコミュニティ紙です。自治会・団体の活動紹介や町民同士の新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。「ふたばのわ」を通して町民のみなさんのつながりや笑い合う場を増やしていけたら。

加須市で行われた
ふれあい工作(凧作り&凧揚げイベント)での一枚

- ▶ 双葉町に逢える場所～双葉町ダルマ市(P2～4)
- ▶ 成人式で聞きました!後世に残したい双葉町(P5) ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6)
- ▶ 町からのお知らせ(P7) ▶ 放射線モニタリング情報・後世に残したい双葉町・編集後記(P8)

■発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集: ふたさぼ(双葉町復興支援員)



インターネットでもつなげようつながろうふたばのわ
(町公式フェイスブックページ)

▶ <http://facebook.com/fukushima.futaba>



今年のダルマ市の目玉はなんとと言っても5年ぶりに復活した巨大ダルマ引き合戦。東が勝てば家内安全、商売繁盛、西が勝てば無病息災、身体堅固。3回勝負の結果はなんと引き分け。すべての願いに恵まれる一年となりそうです。

ダルマを引く時の「よーいっしょ」の掛け声と賑わいに、会場にいた多くの人が、双葉町を懐かしく思い出しました。

「双葉町の人々が双葉町のお祭りを楽しんでいる顔を見て、『ああ、双葉だな』と感じた。ダルマ引きが終わった瞬間涙が出た。双葉町に帰りたくなる瞬間だった」

夢ふたば人 福田一治さん



復活！巨大ダルマ引き合戦



双葉町に逢える場所

双葉町 ダルマ市



1月9日(土)、10日(日)、いわき市南台にて、毎年恒例双葉町ダルマ市が開催されました。多くの方々の双葉町を想う気持ちが集結したダルマ市。そんなみなさんの想いを紹介します。



タブレットや携帯電話でこちらのQRコードを読み取るとダルマ市の様子を動画でご覧になれます

巨大ダルマを5年ぶりに引いたとき、綱を持った感触や会場の賑わいなど、懐かしく感じた。





懐かしい顔にたくさん会えた。
本当に来てよかった。

震災前、ダルマ市2日目に初發神社で行われていた奉納神楽。ダルマ市安全祈願の後、郡山無形文化財保存会のみなさんが、震災後初めてダルマ市での神楽奉納を行いました。郡山の神楽独特の太鼓の拍子と笛の音色に合わせて、獅子頭が勇壮に舞いました。

「冷たい風が吹く中、年配者の体にはこたえたが、今できる精一杯の舞ができた。このような機会を大事にし、由緒ある正八幡神社の伝統ある神楽を何とか傳承したい」

郡山無形文化財保存会
池田勝治さん、渋谷一弘さん



郡山の神楽の動画はこちらから

奉納神楽の伝統を残したい

双葉町の「よっちゃん」という方が、盆踊りの時や郡山海岸で販売していたという「よっちゃんスルメ」。双葉町にゆかりある若者のグループ「ぐるぐるユニット」のみなさんが懐かしの味を再現しました。用意した300食は完売。「この匂いをかいてよっちゃんスルメを思い出した」「懐かしい」など、昔の味を知る40代以上の方にも大好評でした。

「たくさんの方の声を聞きながら、試行錯誤して味を再現し、最後に『これが一番近い!』と言われた時は本当にうれしかった。自分にとって双葉町は第二の親。その双葉町のダルマ市にこれまでと違った形で参加し、人のつながりを感じることができて本当に楽しかった。来るだけでなく、やってみることも大事だと感じた」

ぐるぐるユニット 石井さん



懐かしの味、よっちゃんスルメを再現!

埼玉から
高速道路を通って来た。
福島に近づくにつれて
だんだん気分が良くなる。
福島県の看板を見た時、
阿武隈山系の山を見た時、
ダルマ市に来て懐かしい顔に会った時、
改めて福島っていいなと
感じた。





ダルマ市が好きで、
震災前も毎年行っていた。
ダルマ市に来るのは昔の名残。
ここに来て懐かしい顔を見ると、
色々なことを思い出す。
ダルマ神輿を担いだ
ことも懐かしい。



世代を超えてつながる想い



笑顔と町への想いが原動力

「戦後、活気を失っていたダルマ市を何とか盛り上げようと当時の商店会でアイデアを出し、約50年前にダルマ神輿、約40年前に巨大ダルマ引き合戦を始めた。その時の努力が叶って、ダルマ市はよその町に誇れる双葉町の魅力あるものの1つとなった。場所を変えてもその震災前の雰囲気を感じることがとてもうれしい。双葉町の伝統の灯を消さずにダルマ市を主催してくれている夢ふたば人のみなさんには本当に感謝しています」

(株)まつもと 松本定雄さん

「今年のダルマ市はこれまでよりも笑顔が多かった。その笑顔が自分達の原動力。震災前のダルマ市にあったもので、復活できていないものがまだまだたくさんある。それをみんなで協力し合って復活していけば、町民同士の絆もさらに深まるはず。双葉町に生かされている者として、双葉の伝統を守っていくことは自分の使命だと思い、双葉町に帰れるまでダルマ市をやり続ける」

夢ふたば人 中谷祥久さん



1月3日(日)、いわき市内で双葉町成人式が行われ、74人が成人を迎えました。

「今までお世話になった方々へ恩返しをしながら、今度は自分達が若い人たちを支えていけるような存在になりたい」

「社会人として、双葉町を盛り上げていきたい」

新成人のみなさんからはこんな力強い言葉が聞かれました。

中学校卒業までの多感な時期を双葉町で過ごしたみなさんに、双葉町の好きなもの、後世に残し伝えたいものを聞きました。その場所にまつわる思い出や将来の夢まで、それを話す生き生きとした表情が印象的でした。



成人式で聞きました!

後世に残したい双葉町



QRコードをタブレットや携帯電話で読み取ると成人式の様子を動画でご覧になれます



式典の後には同級会が行われ、お互いの近況や懐かしい思い出話に花を咲かせました

ふたばのお スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



12月22日
ふたば一くで将棋
(いわき市)



12月24日
コーヒー倶楽部茶話会
(白河市)



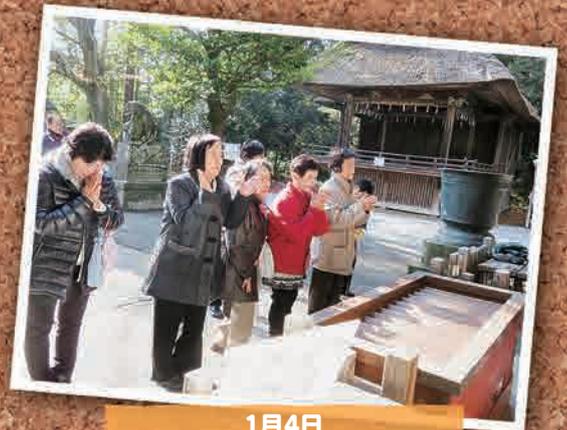
12月25日
いきいきサロンクリスマス会
(加須市)



12月25日
県北ふたば会交流会
(福島市)



12月27日
県南双樹会
お供え餅づくり(白河市)



1月4日
いきいきサロン玉敷神社初詣
(加須市)



町からのお知らせ

相談

原子力損害賠償巡回相談のご案内

要予約・相談無料

福島県では、福島県弁護士会、福島県不動産鑑定士協会と連携し、対面の相談を実施しています。相談料は無料ですので、損害賠償請求手続きについて不明な点などお気軽にご相談ください。

なお、相談には事前の予約が必要です。下記「事前予約受付番号」までご連絡をお願いします。

相談時間

30分 午後1時～午後4時30分
(弁護士巡回法律相談は
午後3時45分まで)

事前予約受付番号

☎024-523-1501

(原子力損害の賠償等に関する
問い合わせ窓口)

予約受付時間

午前8時30分～
午後5時15分(平日)

法律相談実施予定日・場所(2月～3月)

- ……不動産鑑定士巡回相談のみ実施
- ……弁護士巡回法律相談のみ実施
- ……不動産鑑定士巡回相談、弁護士巡回法律相談の同日開催

実施市町村	実施日	実施会場(所在地)
福島市	3月4日(金)	福島県自治会館 1階 101会議室 福島市中町 8-2
伊達市	3月4日(金)	福島県伊達合同庁舎 1階 会議室 伊達市保原町大泉字大地内 124
郡山市	2月29日(月)	福島県郡山合同庁舎 本庁舎 3階 第1会議室 郡山市麓山 1-1-1
三春町	3月7日(月)	福島県三春合同庁舎 2階 小会議室 田村郡三春町大字熊耳字下荒井 176-5
白河市	2月18日(木) 3月17日(木)	白河商工会議所 2階 交流室 白河市道場小路 96-5
会津若松市	2月24日(水)	福島県会津若松合同庁舎 本館 3階 会議室 会津若松市追手町 7-5
喜多方市	3月28日(月)	喜多方プラザ文化センター 1階 小会議室 喜多方市字押切 2-1
南相馬市	2月25日(木)	南相馬市労働福祉会館 会議室1(保健センター西側) 南相馬市原町区北町 537
	3月10日(木)	福島県南相馬合同庁舎 北庁舎 1階 県政相談室 南相馬市原町区錦町 1-30
いわき市	2月17日(水)	福島県いわき合同庁舎 4階 中会議室
	3月7日(月)	いわき市平字梅本 15

不動産鑑定士による巡回相談について

- 対象者: 避難指示解除準備区域、居住制限区域及び期間困難区域(すでに解除された区域を含む)に宅地、建物を所有する個人の方で、**東京電力から「請求書②」が手元に届いた方**
- 必要な書類
 - ▶(必須)東京電力が配付する「賠償金ご請求書②」(個人)一式
 - ▶(できるだけ)写真、建築図面、工事請負書等
 ※建物の写真を撮影して持参される方は、以下の点を参考に写真をご準備ください。
 - ◇建物外部の全景写真
 - ◇建物内部の部屋全体の様子が分かる写真
 - ◇賠償額に含まれていないと思われる高額な設備がある場合はその写真
 - ◇特殊な部材、建築方法を採用している場合はその部分の写真

【注意点】

- ①不動産鑑定士が評価額を算定したり、賠償額を示したりするものではありません
- ②宅地、建物の財物賠償手続きを開始するには、市町村から送付された「固定資産課税情報の明細書」を東京電力へ送付する必要がありますので、未送付の方は送付するようお願いします

原子力損害賠償・廃炉等支援機構では、福島県外でのご相談も受け付けておりますのでお問い合わせ下さい。
予約受付番号0120-330-540(毎日午前9時～午後5時)



タブレット

タブレットの電源入っていますか？

タブレット端末の更新が自動で行われますので、月に一度は必ず電源を入れてください。

「日めぐり」はご覧になりましたか？日替わりでみなさんの笑顔を毎日配信中です！

【問い合わせ先】きずなシステムサポートセンター

0120-916-037(通話無料)

受付時間:平日午前9時～午後6時(土日祝・年末年始を除く)



放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成28年1月22日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅 ……0.13~0.22
- ②福島市 さくら応急仮設住宅 ……0.12~0.18
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅 ……0.12~0.24
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅 ……0.08~0.62
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅 ……0.20~0.22
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅 ……0.05~0.05
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅 ……0.06~0.09
- ⑧会津若松市 第二中学校西応急仮設住宅 ……0.08~0.08
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅 ……0.10~0.13
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所 ……0.17
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎 ……0.10
- ⑫白河市 県白河合同庁舎 ……0.06
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎 ……0.05

- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎 ……0.04
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎 ……0.09
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎 ……0.07



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成28年 1月22日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.72
新山	新山公民館	—	0.47
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.45
新山	双葉南小学校	—	0.53
新山	双葉中学校	—	0.25
新山	県立双葉高等学校	—	0.31
新山	中央公園	—	0.63
下条	双葉総合公園	2.60	1.03
下条	双葉町役場	—	0.32
郡山	郡山公民館	1.48	0.62
細谷	細谷公民館	2.31	0.76
三字	三字公民館	2.53	1.07
山田	山田農村広場	24.47	7.90
石熊	石熊公民館	12.10	4.56
長塚	双葉町体育館	6.25	2.26
長塚	長塚二公民館	3.26	1.05

地区	地点	平成24年 4月1日	平成28年 1月22日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	2.38
長塚	町西住宅	—	0.52
長塚	JAふたば北部営農センター	—	7.29
長塚	双葉北小学校	—	2.09
長塚	ふたば幼稚園	—	1.86
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.48
長塚	双葉町児童館	—	0.38
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.83
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.65
寺松	寺松公民館	3.46	1.32
渋川	渋川公民館	1.48	0.57
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	1.71
中田	中田公民館	0.77	0.32
両竹	両竹公民館	0.54	0.11
浜野	浜野公民館	0.34	0.13

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

今年も仕事始めは成人式の取材でした。中学校の卒業式を終え、学び舎を後にした直後に震災が起き、避難を余儀なくされた新成人のみなさん。多くの人に助けられ、たくさんの困難を乗り越えてきた彼らの言葉は、双葉町への感謝の気持ちで溢れています。地域全体で子どもを見守り育てる環境ができていた双葉町。その環境が双葉町ならではの人柄や想いをつくり、双葉町の良さを確実に引き継いでいる。新成人の言葉からそんなことを感じました。

若い世代の活躍は多くの方の元気の素になりますし、希望を与えてくれるはず。『ふたばのわ』でも若い世代の活躍を紹介し、町民のみなさんの笑顔を増やしていきたいです。

(ふたさぼ 山根光保子)

後世に残したい双葉町

双葉町児童館は私が最初に勤務した場所です。以前、児童館は双葉高校の前にありました。高校時代、子どもたちと先生方が一緒に色んなことを楽しんでいる風景をいつも見ていた私は、子どもたちと一緒にいる仕事をしたいと思うようになり、保育士の学校へ進学を決めました。

職場の先輩方や同僚にも恵まれ、家庭的な雰囲気の中で仕事をできたことが、今も自分の心の支えになっていると感じています。

平成6年に現在の場所に児童館が移転してからは、図書館、町民グラウンド、歴史民俗資料館がすぐ近くにあり、子どもたちにとっても恵まれた環境でした。

今でも、自分が受け持った子どもたちの名前と顔は覚えていますし、当時の情景や子どもたちの声が頭に浮かんできます。

